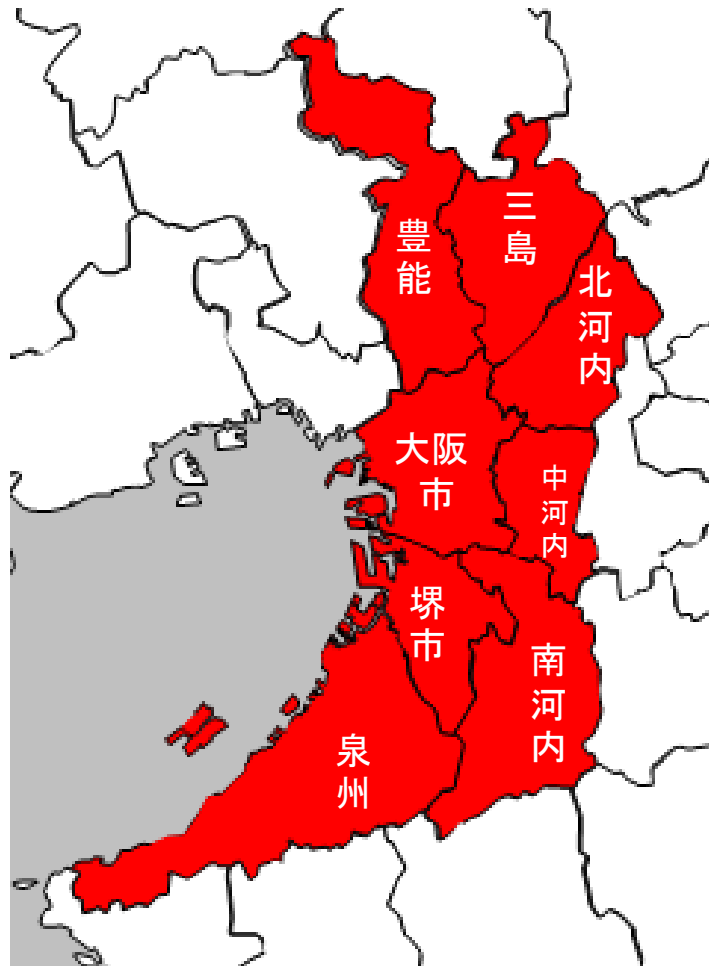


# 27. 大阪府



## 2 7 大阪府

### A. 医療提供体制の現状

大阪府の特徴は、(1) 府全域で高度医療が行われている、(2) 東京都や愛知県と比較すると医療提供が過剰、(3) 堺、泉州に多い療養や精神病床である。

#### (1) 府全域で高度医療が行われている

大阪の8つ全ての医療圏において、年間1,000件以上の全身麻酔を行う基幹病院が少なくとも3つあり、8つ全ての医療圏において年間10,000件を超える全身麻酔が行われている。

#### (2) 東京都や愛知県と比較すると病床過剰

人口10万人当たり一般病床数は、東京都全域が624床、特別区が665床、愛知県全域が547床、名古屋市が736床であるのに対し、大阪府全域で737床、大阪市が966床である。データで見る限り、中河内と泉州を除き大阪府、特に大阪市は、東京都や愛知県と比較すると病床過剰地域である。救急のたらい回しが問題になるのは、供給量不足以外の要因が関与していると思われる。

#### (3) 堺、泉州に多い療養や精神病床

堺や泉州は、病床数が多いが、一般病床が少なく、高齢者施設、療養病床、精神病床が多い。東京の西多摩や南多摩に似た状況にある。

### B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

#### (豊能)

豊能(吹田)は、人口約101万人、面積275/km<sup>2</sup>、人口密度は約3,700人/km<sup>2</sup>であり、大都市型二次医療圏である。豊能には大阪大学(1,076床、全麻4,000件以上、救命救急)、国立循環器病研究センター病院(全麻1,000件以上、DPCⅡ群)があり、西日本の広域から数多くの患者を受け入れている。また、年間全身麻酔2,000件を超える市立豊中病院があり、年間1,000件以上の済生会吹田病院、済生会千里病院(救命救急)、市立吹田市民病院、市立池田病院、箕面市立病院あり急性病院が多数存在する高機能病院の激戦地域である。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は47(一般病床49、療養病床45、精神病床47)、総医師数が58(病院勤務医数59、診療所医師53)、総看護師数47、全身麻酔数55であり、医療資源レベルの高い地域である。また高齢者施設や住宅の偏差値も54、大都市としては充

実した地域である。

2010→40年の医療の総需要が16%増、0-64歳が31%減、75歳以上が87%増であり、東京や名古屋近郊と比べた場合、0-64歳の医療需要の落ち込みが大きい(10%程度多く減少する)。今後、急性期の医療提供体制の過剰感が強まることが予想されるので、医師養成数の適正化や、これらの地域で働く医師へ医師不足地域での勤務を促す誘導策が望まれる。また、高機能病床のダウンサイジングや、急性期病床の一部を後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

### (三島)

三島(高槻)は、人口約74万人、面積213/km<sup>2</sup>、人口密度は約3,500人/km<sup>2</sup>であり、大都市型二次医療圏である。三島には、大阪医科大学(1,076床、全麻4,000件以上)、年間全身麻酔1,000件を超える第一東和会病院、高槻病院、高槻赤十字病院があり、また大阪府三島救命救急センター(救命救急)などがある。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は50(一般病床50、療養病床45、精神病床54)、総医師数が52(病院勤務医数54、診療所医師47)、総看護師数46、全身麻酔数49であり、医療資源レベルの高い地域である。また高齢者施設や住宅の偏差値は49である。

2010→40年の医療の総需要が19%増、0-64歳が25%減、75歳以上が93%増であり、東京や名古屋近郊と比べた場合、0-64歳の医療需要の落ち込みが大きい(10%程度多く減少する)。今後、急性期の医療提供体制の過剰感が強まることが予想されるので、医師養成数の適正化や、これらの地域で働く医師へ医師不足地域での勤務を促す誘導策が望まれる。また、高機能病床のダウンサイジングや、急性期病床の一部を後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

### (北河内)

北河内(枚方)は、人口約119万人、面積177/km<sup>2</sup>、人口密度は約6,700人/km<sup>2</sup>であり、大都市型二次医療圏である。北河内には、関西医科大学(744床、全麻4,000件以上)、年間全身麻酔2,000件を超える関西医科大学附属滝井分院(救命救急)、年間1,000件以上の星ヶ丘厚生年金病院、松下記念病院ある。北河内の患者は大阪市への入院が多い。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は46(一般病床48、療養病床46、精神病床45)、総医師数が48(病院勤務医数47、診療所医師50)、総看護師数45、全身麻酔数48である。総高齢者ベッド数は54であり、大都市としては充実している。

2010→40年の医療の総需要が13%増、0-64歳が36%減、75歳以上が101%増であり、0-64歳の医療需要の落ち込みが大きく、急性期医療の過剰感が強まることが予想される。急性期病床のダウンサイジングや一部を高齢者に対応する病棟へ転換、75歳以上の医療需要増に対応して、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、などが必要だろう。

### (中河内)

中河内(東大阪)は、人口約86万人、面積129/km<sup>2</sup>、人口密度は約6,600人/km<sup>2</sup>であり、大

都市型二次医療圏である。中河内には、年間全身麻酔 1,000 件を超える八尾市立病院、八尾徳洲会総合病院、東大阪市立総合病院、また大阪府立中河内救命救急センター（救命救急）がある。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は 43（一般病床 42、療養病床 45、精神病床 48）、総医師数が 44（病院勤務医数 41、診療所医師 51）、総看護師数 41、全身麻酔数 45 であり、大阪府の中では医療資源の少ない地域であり、中河内の患者は大阪市への入院が多い。また診療所による医療の比率の高い地域である。総高齢者ベッド数は 55 であり、大都市としては充実している。

2010→40 年の医療の総需要が 8%増、0-64 歳が 39%減、75 歳以上が 76%増である。急性期病床の一部を高齢者に対応する病棟へ転換、75 歳以上の医療需要増に対応して、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強などが必要だろう。

### （南河内）

南河内（大阪狭山）は、人口約 64 万人、面積 290/km<sup>2</sup>、人口密度は約 2,200 人/km<sup>2</sup>であり、大都市型二次医療圏である。南河内には、近畿大学（984 床、全麻 4,000 件以上、救命救急）があり、地域の基幹病院として年間全身麻酔 1,000 件を超える大阪南医療センターがある。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は 52（一般病床 53、療養病床 52、精神病床 50）、総医師数が 52（病院勤務医数 57、診療所医師 41）、総看護師数 49、全身麻酔数 49 であり、医療資源レベルの高い地域である。また高齢者施設や住宅の偏差値も 49 である。

2010→40 年の医療の総需要が 5%増、0-64 歳が 40%減、75 歳以上が 75%増であり、東京や名古屋近郊と比べた場合、0-64 歳の医療需要の落ち込みが大きい（10%程度多く減少する）。今後、急性期の医療提供体制の過剰感が強まることが予想されるので、医師養成数の適正化や、これらの地域で働く医師へ医師不足地域での勤務を促す誘導策が望まれる。また、高性能病床のダウンサイジングや、急性期病床の一部を後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

### （堺市）

堺市は、人口約 84 万人、面積 150/km<sup>2</sup>、人口密度は約 5,600 人/km<sup>2</sup>であり、大都市型二次医療圏である。堺市には、年間全身麻酔 3,000 件を超える大阪労災病院、年間 1,000 件以上の全麻を行うベルランド総合病院、市立堺病院がある。堺市の患者は、大阪市や南河内への入院が多い。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は 55（一般病床 46、療養病床 62、精神病床 54）、総医師数が 50（病院勤務医数 48、診療所医師 54）、総看護師数 49、全身麻酔数 50 である。総高齢者ベッド数 51 であり、大都市としては充実している。

2010→40 年の医療の総需要が 13%増、0-64 歳が 25%減、75 歳以上が 71%増であり、0-64 歳の医療需要の落ち込みが大きく、急性期医療の過剰感が強まることが予想される。急性期病床のダウンサイジングや一部を高齢者に対応する病棟へ転換、75 歳以上の医療需要増に対応して、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、などが必要だろう。

**(泉州)**

泉州（和泉）は、人口約 92 万人、面積 441/km<sup>2</sup>、人口密度は約 2,000 人/km<sup>2</sup>であり、大都市型二次医療圏である。泉州には、年間全身麻酔 2,000 件を超えるりんくう総合医療センター、岸和田徳洲会病院（DPCⅡ群）、大阪府立母子保健総合医療センター、年間 1,000 件以上の市立岸和田市民病院、生長会府中病院があり、また大阪府立泉州救命救急センター（救命救急）がある。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は 58（一般病床 43、療養病床 57、精神病床 69）、総医師数が 47（病院勤務医数 48、診療所医師 44）、総看護師数 51、全身麻酔数 52 であり、医学部のない地域としては医療資源レベルの高い地域である。また、精神病床が多いことが泉州の大きな特徴である。

2010→40 年の医療の総需要が 13%増、0-64 歳が 28%減、75 歳以上が 74%増と、地域の医療・介護の高い需要増や大阪市からの高齢者の流入が見込まれる地域なので、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内や大阪市、堺市とのネットワークの強化などが必要である。

**(大阪市)**

大阪市は、人口約 267 万人と日本で最も人口の多い医療圏であり、面積 222/km<sup>2</sup>、人口密度は約 12,000 人/km<sup>2</sup>であり、大都市型二次医療圏である。大阪には、大阪市立大学（1,005 床、全麻 3,000 件以上）があり、年間 5,000 件以上の全麻を行う大阪市立総合医療センター（救命救急）、年間 3,000 件以上の北野病院（DPCⅡ群）、大阪警察病院（DPCⅡ群）、年間 2,000 件以上の大阪医療センター（救命救急）、大阪赤十字病院、大阪厚生年金病院、大阪府立急性期・総合医療センター（救命救急）、大阪府立成人病センター（DPCⅡ群）があり、その他年間 1,000 件以上の全身麻酔を行う病院だけでも 12 施設あり、東京の中心部に匹敵する急性期医療機関の密集地域である。

人口当たりの総病床数の偏差値は 50（一般病床 62、療養病床 50、精神病床 38）、総医師数が 63（病院勤務医数 59、診療所医師 68）、総看護師数 53、全身麻酔数 57 であり、充実した医療が提供されている。総高齢者ベッド数も偏差値 48 と大都市としては、充実している。

一方 2010→40 年の医療の総需要が 14%増、0-64 歳が 28%減、75 歳以上が 63%増であり、東京特別区や名古屋市と比べ、0-64 歳の医療需要の落ち込みが大きい。今後、急性期の医療提供体制の過剰感が強まることが予想される。医師養成数の適正化と大阪で働く医師の医師不足地域での勤務を促す政策誘導、高機能病床のダウンサイジングが望ましい。一方 75 歳以上の医療需要は 63%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

表 27-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口密度	地域タイプ	高齢 化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
大阪府	8,865,245	3位	1,898	46位	4,669.7		22%	-16%	77%
豊能	1,012,902	11%	275	15%	3,677.0	大都市型	21%	-15%	87%
三島	744,836	8%	213	11%	3,488.9	大都市型	21%	-10%	93%
北河内	1,185,935	13%	177	9%	6,685.8	大都市型	22%	-19%	101%
中河内	855,766	10%	129	7%	6,638.5	大都市型	23%	-23%	76%
南河内	636,008	7%	290	15%	2,193.7	大都市型	23%	-24%	75%
堺市	841,966	9%	150	8%	5,613.5	大都市型	22%	-12%	71%
泉州	922,518	10%	441	23%	2,092.7	大都市型	21%	-14%	74%
大阪市	2,665,314	30%	222	12%	11,980.6	大都市型	22%	-14%	63%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 27-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
大阪府	534	6.2%	6.0	48	8,225	8.3%	93	58
豊能	47	9%	4.6	45	954	12%	94	58
三島	39	7%	5.2	46	571	7%	77	49
北河内	60	11%	5.1	46	889	11%	75	49
中河内	41	8%	4.8	45	663	8%	77	50
南河内	39	7%	6.1	49	465	6%	73	48
堺市	43	8%	5.1	46	699	8%	83	53
泉州	78	15%	8.5	54	654	8%	71	46
大阪市	187	35%	7.0	51	3,330	40%	125	74
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 27-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
大阪府	107,949	6.9%	1,218	50	2,952	2.3%	33	44
豊能	10,813	10%	1,068	47	306	10%	30	44
三島	9,059	8%	1,216	50	279	9%	37	44
北河内	12,101	11%	1,020	46	543	18%	46	45
中河内	7,712	7%	901	43	189	6%	22	43
南河内	8,484	8%	1,334	52	171	6%	27	43
堺市	12,182	11%	1,447	55	215	7%	26	43
泉州	14,710	14%	1,595	58	335	11%	36	44
大阪市	32,888	30%	1,234	50	914	31%	34	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 27-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所 施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
大阪府	8,225	8.3%	93	58	7,884	8.8%	89	60	341	3.4%	3.8	44
豊能	954	12%	94	58	918	12%	91	61	36	11%	3.6	44
三島	571	7%	77	49	546	7%	73	52	25	7%	3.4	44
北河内	889	11%	75	49	833	11%	70	50	56	16%	4.7	46
中河内	663	8%	77	50	635	8%	74	52	28	8%	3.3	43
南河内	465	6%	73	48	451	6%	71	50	14	4%	2.2	42
堺市	699	8%	83	53	668	8%	79	55	31	9%	3.7	44
泉州	654	8%	71	46	616	8%	67	48	38	11%	4.1	45
大阪市	3,330	40%	125	74	3,217	41%	121	77	113	33%	4.2	45
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 27-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
大阪府	65,378	7.3%	737	52	22,551	6.9%	254	50	19,315	5.7%	218	48
豊能	6,966	11%	688	49	1,658	7%	164	45	2,035	11%	201	47
三島	5,282	8%	709	50	1,174	5%	158	45	2,603	13%	349	54
北河内	7,804	12%	658	48	2,149	10%	181	46	1,931	10%	163	45
中河内	4,509	7%	527	42	1,356	6%	158	45	1,847	10%	216	48
南河内	4,836	7%	760	53	1,836	8%	289	52	1,662	9%	261	50
堺市	5,213	8%	619	46	4,047	18%	481	62	2,849	15%	338	54
泉州	5,010	8%	543	43	3,543	16%	384	57	6,147	32%	666	69
大阪市	25,758	39%	966	62	6,788	30%	255	50	241	1%	9	38
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 27-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急 センター	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	がん診療 拠点病院	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
大阪府	10	4.9%	1.1	48	14	3.7%	1.6	46	195,852	7.6%	2,209	52
豊能	2	20%	2.0	52	2	14%	2.0	47	25,560	13%	2,523	55
三島	1	10%	1.3	49	1	7%	1.3	45	13,980	7%	1,877	49
北河内	1	10%	0.8	47	1	7%	0.8	44	21,168	11%	1,785	48
中河内	1	10%	1.2	48	1	7%	1.2	45	12,828	7%	1,499	45
南河内	1	10%	1.6	50	2	14%	3.1	51	12,180	6%	1,915	49
堺市	0	0%	0	43	1	7%	1.2	45	17,100	9%	2,031	50
泉州	1	10%	1.1	48	1	7%	1.1	45	20,712	11%	2,245	52
大阪市	3	30%	1.1	48	5	36%	1.9	47	72,324	37%	2,714	57
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん 研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			



表 27-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院勤務 医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
大阪府	25,312	7.9%	286	54	15,562	7.8%	176	53	9,750	8.0%	110	55
豊能	3,244	13%	320	58	2,177	14%	215	59	1,067	11%	105	53
三島	2,008	8%	270	52	1,363	9%	183	54	645	7%	87	47
北河内	2,742	11%	231	48	1,603	10%	135	47	1,139	12%	96	50
中河内	1,688	7%	197	44	848	5%	99	41	840	9%	98	51
南河内	1,719	7%	270	52	1,288	8%	202	57	431	4%	68	41
堺市	2,111	8%	251	50	1,199	8%	142	48	913	9%	108	54
泉州	2,050	8%	222	47	1,345	9%	146	48	705	7%	76	44
大阪市	9,749	39%	366	63	5,739	37%	215	59	4,010	41%	150	68
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 27-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
大阪府	68,530	6.6%	773	49	59,720	7.0%	674	50	8,810	4.9%	99	44
豊能	7,450	11%	736	47	6,579	11%	650	49	872	10%	86	42
三島	5,306	8%	712	46	4,723	8%	634	48	583	7%	78	41
北河内	7,898	12%	666	45	6,575	11%	554	45	1,323	15%	112	46
中河内	4,845	7%	566	41	4,062	7%	475	41	783	9%	91	43
南河内	5,017	7%	789	49	4,495	8%	707	52	522	6%	82	42
堺市	6,709	10%	797	49	5,900	10%	701	51	809	9%	96	44
泉州	7,641	11%	828	51	6,898	12%	748	53	743	8%	81	41
大阪市	23,665	35%	888	53	20,489	34%	769	54	3,176	36%	119	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

表 27-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
大阪府	6,630	6.9%	75	50	5,275	8.2%	60	52
豊能	770	12%	76	50	845	16%	83	58
三島	608	9%	82	52	596	11%	80	57
北河内	815	12%	69	49	714	14%	60	52
中河内	552	8%	64	48	410	8%	48	50
南河内	375	6%	59	46	180	3%	28	45
堺市	692	10%	82	52	481	9%	57	52
泉州	821	12%	89	54	601	11%	65	53
大阪市	1,997	30%	75	50	1,448	27%	54	51
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病棟連絡協議会			

表 27-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
大阪府	1,760	###	21.1	71	71	9.1%	0.9	55	523	7.7%	6.3	59
豊能	183	10%	19.6	68	4	6%	0.4	48	58	11%	6.2	59
三島	154	9%	23.8	76	4	6%	0.6	51	37	7%	5.7	56
北河内	134	8%	13.4	56	11	15%	1.1	59	66	13%	6.6	62
中河内	152	9%	19.6	68	5	7%	0.6	51	43	8%	5.5	55
南河内	120	7%	19.0	67	5	7%	0.8	54	41	8%	6.5	61
堺市	152	9%	19.3	67	6	8%	0.8	53	54	10%	6.9	63
泉州	122	7%	14.4	58	8	11%	0.9	56	48	9%	5.7	55
大阪市	743	42%	27.4	82	28	39%	1.0	58	176	34%	6.5	61
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			



表 27-12 老人保健施設（老健）収容数、特別養護老人ホーム（特養）収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）収容数				特別養護老人ホーム（特養）収容数				介護療養病床数			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
大阪府	18,863	5.4%	23	46	29,084	5.8%	35	49	3,391	4.0%	4.1	46
豊能	1,905	10%	20	42	3,526	12%	38	52	0	0%	0	39
三島	1,498	8%	23	47	2,390	8%	37	51	75	2%	1.2	41
北河内	2,408	13%	24	49	3,515	12%	35	50	401	12%	4.0	46
中河内	1,664	9%	21	44	2,989	10%	39	53	408	12%	5.3	49
南河内	1,336	7%	21	44	2,445	8%	39	53	370	11%	5.9	50
堺市	1,664	9%	21	44	2,499	9%	32	46	477	14%	6.1	50
泉州	1,825	10%	22	44	2,317	8%	27	42	741	22%	8.7	55
大阪市	6,563	35%	24	49	9,403	32%	35	49	919	27%	3.4	45
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 27-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム				グループホーム				高齢者住宅			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	313,116		22.3	(16.7)	171,021		12.2	(5.9)	88,421		6.3	(4.0)
大阪府	26,190	8.4%	31.4	55	7,853	4.6%	9.4	45	7,694	8.7%	9.2	57
豊能	3,564	14%	38.2	60	883	11%	9.5	45	736	10%	7.9	54
三島	1,929	7%	29.8	54	523	7%	8.1	43	412	5%	6.4	50
北河内	3,950	15%	39.6	60	905	12%	9.1	45	676	9%	6.8	51
中河内	2,336	9%	30.1	55	924	12%	11.9	50	969	13%	12.5	66
南河内	1,441	6%	22.8	50	554	7%	8.8	44	366	5%	5.8	49
堺市	2,164	8%	27.5	53	1,017	13%	12.9	51	1,061	14%	13.5	68
泉州	2,646	10%	31.2	55	717	9%	8.5	44	1,029	13%	12.1	65
大阪市	8,160	31%	30.1	55	2,330	30%	8.6	44	2,445	32%	9.0	57
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 27-14 ～64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	～64歳人口			2010年を100とした～64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
大阪府	6,181,997	5,642,300	4,768,789	90	82	69	1,303,902	1,549,127	1,471,843	157	186	177
豊能	718,219	652,800	553,247	90	82	69	145,489	177,305	174,113	156	190	187
三島	536,862	504,432	437,024	92	86	75	108,839	134,189	125,155	168	207	193
北河内	803,188	719,587	589,058	87	78	64	178,867	218,367	201,001	179	219	201
中河内	567,823	501,557	405,828	86	76	61	128,801	148,671	136,543	166	192	176
南河内	414,250	360,428	294,178	85	74	60	98,321	117,833	110,596	156	187	175
堺市	596,516	561,247	487,999	91	86	75	123,528	147,308	134,768	157	187	171
泉州	656,225	603,244	520,135	90	83	72	125,874	152,715	147,533	148	180	174
大阪市	1,888,914	1,739,005	1,481,320	91	84	72	394,183	452,739	442,134	145	167	163
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 27-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			総介護需要 増減率
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	
全国		10%	-30%	58%	50%
大阪府		13%	-31%	77%	65%
豊能	大都市型	16%	-31%	87%	74%
三島	大都市型	19%	-25%	93%	78%
北河内	大都市型	13%	-36%	101%	82%
中河内	大都市型	8%	-39%	76%	62%
南河内	大都市型	5%	-40%	75%	61%
堺市	大都市型	13%	-25%	71%	60%
泉州	大都市型	13%	-28%	74%	63%
大阪市	大都市型	14%	-28%	63%	55%
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省 平成22年度 国民医療費 厚生労働省				

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 27-2 大阪府 2010 年→40 年医療介護需要の増減予測

